



AA日本ニューズレター

NPO法人AA日本ゼネラルサービス (J S O)

No.132

矯正施設メッセージ特集

AA関東甲信越地域矯正・更生施設委員会報告

平成20年8月31日に川崎文化会館で第7回AA関東甲信越地域矯正・更生施設委員会パブリック・ミーティングが開催されました。刑務所の教育担当の方をはじめ矯正官・保護観察官の方など関係機関の皆様の参加を賜わり、120名をこす来場者で盛況のうちに終了することができました。本当にありがとうございました。

開催させてもらいました矯正・更生施設委員会とメッセージ活動内容をご紹介します。

委員会は月1回、東京の佃で地域委員会の午前中に10名前後で開催しています。各施設の担当者には毎回メッセージ報告書を提出してもらい、情報の共有と問題解決などを話し合っています。

現在、関東では府中、横浜、前橋、市原、黒羽、甲府の6ヶ所の刑務所と、日新協会、足立寮、荒川寮、千葉婦性会、更新会の5ヶ所の更生保護施設にメッセージをはこばせてもらっています。

各刑務所のメッセンジャーはすべて登録制になっています。登録資格はさまざまで、入所経験者の許可が3ヶ所、不許可が3ヶ所(1ヶ所は5年経過者は許可)。女性の登録は6ヶ所中4ヶ所で許可をいただいています。また生活保護受給者の申請も不許可の所が1ヶ所あります。逆に資格条件が一切ない所が3ヶ所もあるのには、私もビックリいたしました。

毎年登録を更新する施設と、欠員が出た時に募集する施設とがあります。現在募集しているのは市原刑務所の1ヶ所です。(年12回・木曜15:00~16:00詳しくは委員までお尋ね下さい。)また登録はしたものの、残念ながら1年間の参加経歴がなかったメンバーは、委員会の方で独自に登録を抹消させてもらっています。

申請と結果は、セントラルオフィスを経由して手続きをしています。審査結果は数週間でお返事をいただける所が多いのですが、1年以上お返事のない所もあり、さまざまです。

各施設には担当窓口メンバーを決めています。担当窓口メンバーはメッセンジャーと連絡をとり、参加人数の調整をします。私が参加している所では1回に3名以上

の来所は困るそうです。警備の問題もあるのでしょうか、最初に施設側が望む1回の来所人数をお聞きしておくことも大切かと思われます。参加メンバーが決まったら担当窓口は参加者名をセントラルオフィスに伝え、そこから毎回、各刑務所の教育担当者へ報告をしてもらっています。

更生保護施設は犯罪や非行をした人の社会復帰を助ける施設で、全国に101ヶ所あり、仮出所する人の4人に1人が更生保護施設にお世話になるそうです。こちらはAAの活動に理解ある職員さんの協力で始まり、病院施設メッセージと同じ参加方法をさせていただいています。多くのメンバーに協力をお願いしたい施設です。

また東京には全国に7ヶ所しかない女性だけの更生保護施設「静修会荒川寮」があります。毎月最終週の水曜日に行なわれ、当然、参加は女性メンバーだけに限られています。施設側の希望から所在地の公開もできません。したがって担当窓口者はメッセンジャーの募集に苦労しています。初参加の方には最寄駅で待ち合わせ、施設まで案内をしていますので、参加希望の方は委員までご連絡下さい。ちなみに場所は山の手線沿いです。

委員会では各施設の報告をしてもらいますが、その中で自分の参加施設にも取り入れたいことなどが見つかってきます。例えば、「講義方式の座席から円座にイスを並べて入所者の間にメンバーが入って座ることにしました。」との報告があった時に、私の参加施設でもできないものかと提案したら、「薬物の教育ではすでにそのように座り、受刑者の態度に打ち解けたものを感じていた。AAさんはなぜやらないのだろうと思っていました。」と言われて許可ができました。今まで提案しなかった為に、これまでの参加者には申し訳ないことをしたと思いました。

また大分刑務所の報告書に、「入所者に司会を頼んで行なった」とありました。多くの施設では入所者とは1回しかお会いしませんので難しいのですが、ワンクール5ヶ月5回お会いできる施設では可能かと思い提案したところ許可ができましたので、3回目の時に予告として、「次回は皆さんの方で司会進行をお願いします、我々は参加するだけです。」と進行方法もお伝えしました。す

ると4回目の時には入所者が司会者を決め、序文・3章・5章を読んだのちにミーティングを進めてくれたのです。これは新鮮な経験でした。

将来は刑務所の中で、入所者による自主的なミーティングが開かれることが望ましいのですが、「ある目的のための受刑者同士の集合は認めることが難しいでしょう」と教育担当教官のお話がありましたように、今は急ぐことなく、「AAの存在を知っていただくこと」が私達の役割なのかなと思っています。嬉しいことに刑務所でAAを知り、出所後に入った更生保護施設でもメッセージが届いていて、のちにAAのミーティング会場を開いてくれたメンバーがいらっしやるのですから。

法律も変わり、今後はさまざまな形でかかわれる可能性もでてきました。入所中のメンバーから、「刑務所の中でも5ステップは受けてもらえますか？」と質問された時には何故かドキッとしました。親族以外の者との接触を希望できるなどは、一昔前では考えられない提案だと思います。またセントラルオフィスには「出所後に戻る地元のミーティング会場の情報を教えて欲しい」と問い合わせの手紙もくるようになりました。お返事は矯正施設委員会で書きまして、セントラルオフィスの名義で郵送してもらっています。

以上が関東の報告ですが、今年も全国的な分かち合いの場として、11月16日に島根県浜田市で「第2回AA日本矯正施設フォーラム in 山陰」が島根県浜田市で開催されます。実行委員会の仲間はご苦労さまです。関東の仲間もお会いできるのを楽しみにしています。

平成20年9月27日

関東甲信越 矯正施設委員 後期評議員代理 服部

第2回 AA 日本矯正施設フォーラム in 山陰

開催を間近にひかえて

つい先日、とある矯正施設に仕事でおじゃました。たくさん受刑者がいた。私は数年前の自分自身を思い出していた。

アルコールで入院したその年を、私は拘置所で越した。数ヶ月続いたソーバーの後、スリップし、飲酒だけには留まらず深く人を傷つける犯罪加害に至ったのだ。だが気持ちは決して後ろ向きではなかった。それは私が「ターニングポイント」を越すために必要な何かを与えられていたからだと思う。そしてその与えられた何かは、AA無しではありえないものだった。

逮捕後、私は酒こそ抜けたものの、魂は思いっきりの恨みと自己憐憫ではちきれんばかりだった。「出たら飲んで親のところで大暴れてやる！」「自分はもうどうしようもない。救いようがない」そんなことばかり心に浮かんだ。

そんな時、「〇×番、面会！」と呼ばれた。面会室に行くと、そこにはスポンサーとグループの仲間がいた。私の友人を通じ、逮捕を知って訪ねてきてくれたという。私

は嬉しくて嬉しくて思わずひざまずいた。この私に仲間は会いに来てくれたのだ！それは、今のこの自分の存在を認めてくれる、ということの意味した。それは自分にとって恨みや自己憐憫よりも強い力を持つものだった。

この面会から私は希望をもらい、その希望は意欲へとつながった。私は棚卸しを始め、初めて自分自身と正直に向き合い始めることができた。その他にも自分が勝手に恨んでいた親の愛ある面会、専門家の助言等々の数々の支えがあり、回復への道を歩み始めることができた。

それから何年もの時間が経ち、今春、この地の仲間たちがセミナーをやると聞き、東京から数ヶ月後にそこに転居する予定の私は、島根県浜田市を初めて訪れた。仲間たちは、熱心にステップに伝統に概念に取り組もうとしていた。そして矯正施設が新しくできるのをきっかけにフォーラムを開き、活動を活発化させようと意欲に燃えていた。初めての地方住まいに不安を抱えていた私だったが、「ここでもやっていける！」と安心できた。

そして浜田にやってきて、私は益田グループの、そしてフォーラム実行委員会のメンバーにさせていただいた。

都市部とは異なり交通は不便だが、実行委員会には毎回数時間をかけて近県から仲間がやってくる。何を目的にどんなフォーラムにするのか、どんな人に話をさせていただいて、詳細の段取りはどうするのか、熱心に議論する。ある時は数時間に及び、仲間が隣県の自宅に戻ったのは深夜をまわっていたこともあった。

今回のフォーラムでは、仲間の経験談はもちろんのこと、アルコールというよりは矯正の世界で経験を積んでこられ新しいことにチャレンジされている大阪大学の藤岡淳子教授、地域でアルコールの治療と社会復帰支援に定評のある山口県宇部市の宇部高嶺病院の橋本隆院長を初め、矯正や更生保護の分野の第一線で活躍されている講演者、パネリストを迎え、この分野についての経験と力と希望を分かち合い、私たちが友人たちと協力しながら「今苦しんでいる矯正施設内のアルコール」に何ができるかを分かち合いたい。

また、前日の「プレ・フォーラム(前日祭)」では、全国各地で矯正施設や更生保護施設に実際にメッセージを運んでいる仲間の話を聞き、同様の目的で分かち合いたい。

ぜひ多くのAAの友人、仲間に参加していただきたいと思う。

冒頭に述べた矯正施設を訪れた際、私は塀の中にとても多くのアルコールたちがいることを実感した。そしてそこで、仲間たちが「新しい人生を歩き始める」のに、私たちにこそ、今できることがあることを。かつて留置所に面会に訪れてくれた仲間たちのように。

タカシ(AA 益田グループ)

AA矯正・保護施設メッセージ活動のあゆみ(2008年6月現在)				
年	月	全国初	関東甲信越地域	それ以外の地域における主な動き ◆保護施設関連の動き ★矯正施設関連の動き
1994	5	◎ニュージーランドWS評議員を囲んでの矯正・保護施設メッセージ・ワークショップが開催される(東京・月島)		
		*日本国内の矯正施設にメッセージを運ぶためのアプローチ活動がスタート		
				◆浜松、豊橋保護観察所との話し合いが始まる
				★豊橋、静岡、富山刑務所との話し合いが始まる
	7	◎第1回矯正メッセージに関するチーム作りのための話し合いが持たれる(浜松)		
				◆東京の更生保護施設・静修会の勉強会にメンバーが参加。
				◆更生保護施設・智光寮へのメッセージ活動実施「2回」(愛知・豊橋)
	9	◎第2回および第3回矯正メッセージに関するチーム作りの話し合い(東京)		
		*この話し合いの中で「矯正施設委員会」と名称を変更、個人の活動からネットワーク活動への移行を確認		
1995	3	★豊橋刑務所へのメッセージ活動が始まる(愛知)		
				AAメンバーへの協力呼びかけの会合を大宮、美松、長野で開催
				AA中国四国地域集会で矯正施設メッセージに関する分かち合いを実施
				◆保護監察局機関誌「更生保健」に「アルコール依存症とはどんな病気か(AA活動の紹介を含む)」が掲載される
1996	2	◎AA日本サービス常任理事会発足、全国レベルでの矯正関連施設メッセージ活動への取り組み開始		
	8			★府中刑務所との話し合いが始まる(東京)
1997	11	★府中刑務所へのメッセージ活動が始まる(東京)		
				★東京矯正管区管内行刑施設教育担当者対象の「酒害教育研究会」が府中刑務所にて、参加出席
				*府中刑務所酒害教育プログラムの紹介およびAAモデルミーティングの開催
				*8行刑施設からの担当者12名および東京矯正管区職員5名が出席
2000	1	◆更生保護施設・静修会足立寮へのメッセージ活動が始まる(東京)		
	2			★横須賀刑務所へのメッセージ活動が始まる(神奈川)
	4			★横浜刑務所へのメッセージ活動が始まる(神奈川)
	5	★府中刑務所で女性メッセンジャーの初参加が実現する(東京)		
	7			★前橋刑務所へのメッセージ活動が始まる(群馬)
	8			◆更生保護施設・日新協会へのメッセージ活動が始まる(東京)
				AA関東甲信越地域で「矯正施設へのメッセージを考える交流会」発足(毎月1回)
				★市原刑務所との話し合いが始まる(千葉)
				◆更生保護施設・まこと寮内にAAミーティング会場を開設(神奈川)
	9			★市原刑務所で個人のメッセージ活動が始まる(千葉)
				★宮城刑務所とAA東北地域小委員会との話し合いが始まる
	12			◆盛岡保護司会主催の研修会でAAの広報活動およびモデル・ミーティングを実施
2001	2			◆更生保護施設・千葉婦性会へのメッセージ活動が始まる
	4			AA関東甲信越地域矯正施設小委員会が発足
	5	◎第1回AA関東甲信越地域矯正施設パブリック・ミーティング開催(横浜)		
	7	◆女性更生保護施設・静修会荒川寮へのメッセージ活動が始まる(東京)		
	12			AA関東甲信越地域矯正施設委員会が発足(小委員会が発展)
2002	1			★市原刑務所で委員会としてのメッセージ活動が始まる(千葉)
	3			◆更生保護施設・川崎自立会へのメッセージ活動が始まる(神奈川)
	4	◎第1回AA関東甲信越地域矯正施設メッセージ・フォーラム開催(東京)		
2003	7			第2回AA関東甲信越地域矯正施設パブリック・ミーティング開催(東京・小金井市)
	12	★法務省・矯正局主催東日本管区行刑施設教育担当者研修会(39行刑施設が参加)にAAメンバーが出席		
				第2回AA関東甲信越地域矯正施設メッセージ・フォーラム開催(東京)

年	月	全国初	関東甲信越地域	それ以外の地域における主な動き ★矯正施設関連の動き ◆保護施設関連の動き
2004	8			◆第3回関東甲信越地域矯正施設パブリック・ミーティングに法務省保護局の方が出席(千葉市)
	9			◆さいたま保護観察所においてAA広報とモデルミーティングを開催(埼玉・さいたま市)
	12			第3回AA関東甲信越地域矯正施設メッセージ・フォーラム開催(東京)
2005	2			★黒羽刑務所で関東矯正施設委員会との話し合いが行なわれる(栃木)
				★加古川刑務所へのメッセージ活動が始まる(兵庫)
	5			★黒羽刑務所へのメッセージ活動が始まる(栃木)
	7			第4回AA関東甲信越地域矯正施設パブリック・ミーティング開催(埼玉・さいたま市)
	9			★名古屋刑務所へのメッセージ活動が始まる(愛知)
	11			★宮城刑務所よりAAメッセージの要請依頼がある(宮城)
2006	2			★宮城刑務所と東北矯正施設委員会との話し合いが行なわれる(宮城)
	3			★宮城刑務所へのメッセージ活動が始まる(宮城)
	7			◆更生保護施設・更新会へのメッセージが始まる(東京)
				第5回AA関東甲信越地域矯正施設パブリック・ミーティング開催(東京・国分寺市)
	8			★甲府刑務所との話し合いが行なわれる(山梨)
				加古川刑務所メッセージ連絡会の名称からAA関西地域矯正施設委員会に発展
2006	12	◎第1回AA全国矯正・保護施設メッセージ・フォーラム開催(東京)★法務省矯正局の方の御参加、講演をいただく。		
2007	2			★甲府刑務所へのメッセージ活動が始まる(山梨)
				◆甲府保護観察所においてAAプレゼンテーションミーティング開催(山梨)
				★大分刑務所との話し合いが行なわれる(大分)
	4			★大分刑務所へのメッセージ活動が始まる(大分)
	5			★沖縄刑務所へのメッセージ活動が始まる(沖縄)
	6			◆更生保護施設・和衷会へのメッセージ活動が始まる(大阪)
	7			◆更生保護施設・草牟田寮へのメッセージ活動が始まる(鹿児島)
				第6回AA関東甲信越地域矯正施設パブリック・ミーティング開催(山梨・甲府市)
	2			◆更生保護施設・佐世保白雲のメッセージ活動が始まる(長崎)
2008	5	◎関東春季ラウンドアップにて矯正フォーラム開催。山梨県弁護士協会の弁護士さんのご講演をいただく(山梨・笛吹市)		

読者の皆様へ

- * 矯正施設へのメッセージ活動を皆様と一覧表で分かち合うのは、本紙面では初めてです。各地域の重要なメッセージ活動について未掲載のものは、是非 JSO までご連絡下さい。
- * 矯正施設におられて、AA のプログラムで回復された方々の個人の物語集は第 1 3 回 AA 日本全国評議会でも制作が確定しています。分量は問いません。JSO にお寄せいただければ有り難く存じます。
- * AA 日本ニューズレターは来年も矯正特集を組みます。ご意見をお寄せ下さい。
- * BOX 精選集第 5 巻矯正特集『塀の中の AA』9 6 P にありますように、AA 矯正施設文通サービスについてご応募いただける方は JSO にご連絡下さい。何人かの方々がご応募いただいています。
- * 次号 133 号では、「何故日本では AA メンバーが増えないか」という特集号を発行します。それをキッカケにメッセージの運び方の棚卸をしていきたいと思ひます。関係者の方々も含めご投稿をお待ちしています。1 2 月 5 日までとします。(AA 日本ニューズレター編集委員会)

編集・発行： NPO 法人 AA 日本ゼネラルサービス (JSO)

〒171-0014 東京都豊島区池袋 4-17-10 土屋ビル 4F Tel:03-3590-5377 Fax:03-3590-5419

<http://www.aajapan.org> aa-jso@cam.hi-ho.ne.jp

(月一金) 10:00-18:00 (土・日・祝) 休